

いちごの国の少女

九州産業大学造形短期大学部
浅田 陽彩 阿部 百音

concept

この作品は、不思議の国のアリスにインスピレーションを得て、いちごと女の子をメインに制作しました。「散歩していた森で、いちごの国に繋がるいちごの形の穴を見つけ、それを覗き込む女の子の場面」を上からの視点で表現しました。ストロベリーラブフェスタをいちごの国に、女の子をお客さんにたとえています。ストロベリーラブフェスタへこれから訪れる方々にはまだ見ぬいちごスイーツへの期待を感じてもらえるように、訪れている方々にはいちごの国に迷いこんでしまったな、と楽しく感じてもらえるようなディスプレイを目指しました。

point of appeal

本来のいちごとは異なる色を用いることで、意外性を出し、見ている人に印象づけること、赤やピンクをメインとした作品との差別化を図りました。いちごの形の穴は層になっており、上からの視点にすることと、奥にいくにつれて色のトーンを落とすことで、奥行き感を出しました。また、穴の下部から光を入れ、幻想的な雰囲気にし、穴の奥に続く世界への興味を誘ったり、期待感を抱いてもらえるように演出しました。背景には小さな照明をランダムに透かし、全体が柔らかく輝いて見えるようにしました。消灯時のダークな雰囲気との違いも楽しんでもらいたいです。

